

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2014年版、名古屋建築 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2014(v.1.22)
 物環境配慮制度運用マニュアル2014

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西区幅下計画 新築工事	階数	地上18F
建設地	名古屋市西区幅下二丁目901番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	264 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2015年12月17日
敷地面積	1,316 m ²	作成者	
建築面積	505 m ²	確認日	2015年12月17日
延床面積	6,451 m ²	確認者	

外観/パース等
 図を貼り付けるときは
 シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.5 ★★★★★★☆☆

☆:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆:100%超 ☆☆:100% ☆☆☆:80% ☆☆☆☆:60% ☆☆☆☆☆:30%

標準計算
 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地が北、東の道路に面するため、可能な限り道路側には植栽を配置し、道路境界線を緑豊かにするように計画しました。また、機械式駐車場に目隠しルバーを設置するなど、周囲の景観に配慮した計画としました。	0
Q1 室内環境 建築基準法等の求める必要最低限の性能を確保します。	Q3 室外環境(敷地内) 歩行者、自転車、車両の動線を区別することで歩行者空間の安全を確保しました。また、敷地内の段差を可能な限り減らすことで、バリアフリーに配慮した計画としました。
Q2 サービス性能 建築基準法等の求める必要最低限の性能を確保します。	LR3 敷地外環境 建築基準法等の求める必要最低限の性能を確保します。
LR1 エネルギー 建築基準法等の求める必要最低限の性能を確保します。	LR2 資源・マテリアル 建築基準法等の求める必要最低限の性能を確保します。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される